

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会学と社会システム		必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
松崎 昇	D302	noboru.matsuzaki		金曜日 12:30~14:40	
授業の目的・概要	<p>〔目的〕社会とは何だろうか、現代社会はどのような状況にあるのだろうか、TV・Net・新聞等ではいかなる社会的諸問題が論じられているのだろうか、それらを私達はどうか捉えたらよいのだろうか？本科目は、学生が社会学を体系的に学ぶことを通じ、現代日本社会の諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査考察議論できるようになることを目的とする。</p> <p>またこの科目は、福祉系の人にとって国試科目でもある、しっかりと理解することを望む。</p> <p>〔概要〕社会学の体系的理解を踏まえたうえで、現代が抱える社会的諸問題を把握考察していく。終盤には受講生同士で議論する機会を設けてある。最終回には模擬問題の解答・解説も予定している。授業は教室対面式であるが、課題・レポート提出には Teams を用いる。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	1. 国内外の社会的諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ考えてみること。 2. 毎回の授業で用いる Power Point を事前に up する予定なので、印刷可能な人は print out するなりし、あらかじめ目を通しておくことを勧める。				
教科書	社会学と社会システム／編：日本ソーシャルワーク教育学校連盟／中央法規出版／2021年				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会学の基本的な事項を説明することができる。			HSU(2)(3)(5)、HC(3)	
②	現代の日本・世界で生起している社会的諸問題について、関心を持ち調査考察できる。			HSU(5)(6)、HC(3)	
③	同上等の論点に関し、受講生同士で議論できる。			HSU(1)(4)、HC(3)(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目の Guidance。 社会学の方法を学ぶ (個人主義・集合主義)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
2	社会学の体系1を学ぶ (行為・自己と他者)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
3	社会学の体系2を学ぶ (家族・地域・組織)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
4	社会学の体系3を学ぶ (社会システム・格差)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
5	社会学の体系4を学ぶ (経済・人口・環境)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
6	社会学の体系5を学ぶ (国家・公共性)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
7	社会学の体系6を学ぶ (意識・生活)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
8	社会学の体系7を学ぶ (世界・グローバル化)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
9	社会学の体系8を学ぶ (変動・現在的諸問題)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
10	社会学史1を学ぶ (社会契約論~Durkheim)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
11	社会学史2を学ぶ (Tönnies~Merton)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
12	社会学史3を学ぶ (現象学的社会学~構築主義)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
13	社会学史4を学ぶ (Luhmann~Beck)。	講義	課題を解答し提出する。	4	
14	受講生による Discussion。	討論	課題を解答し提出する。	4	
15	模擬問題を解答し、解説を聞き、しっかりと理解する。	演習・講義	課題を解答し提出する。	4	
試					

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	20	0	40	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	レ	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	レ					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		受講生による Discussion を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発言の質量等に着目する。				Comment を付け、結果を公表する。
	②	レ					
	③	レ					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	レ	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	レ					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	なし。						
そ の 他	1. 福祉心理学科の必修科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士の受験要件に必要な科目である。 2. 授業は教室対面方式であるが、課題・レポートは Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 3. 本科目は教室対面式の授業を行うので、受講生は大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合には授業への参加を認めない。 4. 授業進度等、また今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。						